

湖美来 通信



「次代に残そう紺碧の猪苗代湖、清らかな青い湖 裏磐梯」



uture
rom
ukushima.

ふくしまから
はじめよう。

発行 / 猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会
住所 / 福島市杉妻町2番16号
(事務局 福島県生活環境部 水・大気環境課)
TEL.024-521-7258 FAX024-521-7927
E-mail / kosuikyo@ht-net21.ne.jp
ホームページ / http://www.ht-net21.ne.jp/~kosuikyo/

第11回猪苗代湖・裏磐梯湖沼 フォトコンテスト入賞作品	2
猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会 平成25年度下半期活動報告	4
「この人に聞く」(日本大学名誉教授 中村 玄正 氏)	6
猪苗代湖の水質ランキング結果 他	7
おすすめスポット / 寄付御礼 / 編集後記	8



湖美来クラブ特別賞

「春の兆」 清野欣子さん (福島市)



© 松本零士

「湖美来」イメージキャラクター
水恋(すいれん)と湖春(こはる)



佳作
「朝焼けの川」 笠原壽一さん (福島市)



第11回猪苗代湖・裏磐梯湖沼 フォトコンテスト入賞作品

猪苗代湖・裏磐梯湖沼群の美しい自然と良好な水環境について多くの方々に関心と理解を深めてもらい、水環境保全の意識高揚を図ることを目的として、今年度もフォトコンテストを開催しました。

第11回目となる今回は、54名の方から146点の応募がありました（作品募集期間：平成25年9月2日～平成25年9月30日）。入賞作品は、協議会のホームページや広報等に広く活用していきたいと考えています。



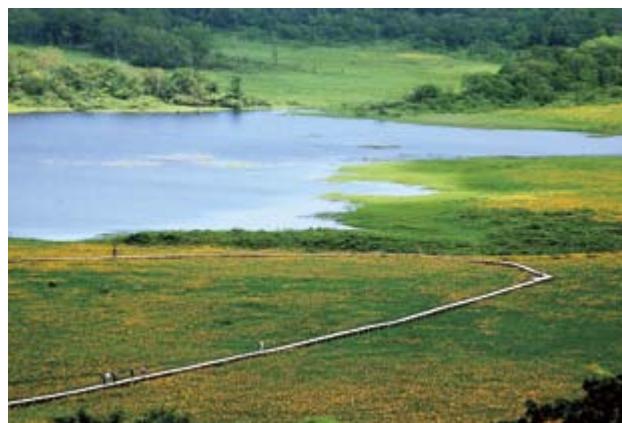
最優秀賞

「湖畔の夜明け」 丹治美知夫さん（福島市）



優秀賞

「早春の猪苗代湖」 斎藤竹男さん（福島市）



優秀賞

「キスゲの彩り」 寺島脩二さん（福島市）

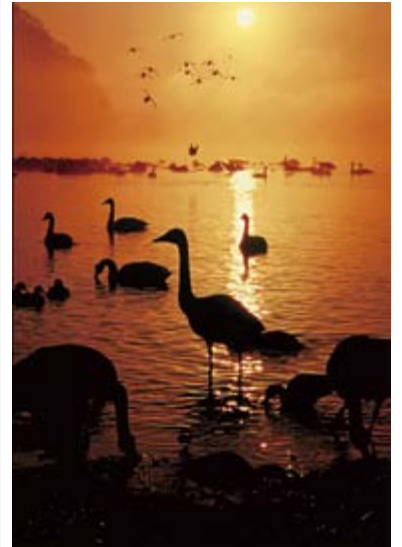
👑 入 選



「晩秋」 河野善次さん (福島市)



「秋の渓谷」 佐藤潔さん (山形県天童市)



「飛翔」 渡部清さん (会津若松市)

👑 湖美来クラブ特別賞



「朝焼けの湖畔」 伊藤留夫さん (大玉村)



「新成氷」 富田國男さん (茨城県ひたちなか市)

👑
Photo
Contest

👑 佳 作



「氷雪の湖畔」 片桐勝美さん (喜多方市)



「沈黙の朝」 鈴木洋一さん (会津若松市)



「星流れ落つ湖」 長渡成一さん (いわき市)



「夕陽の湖畔」 土田昇一さん (郡山市)

👑
Photo
Contest

平成25年度下半期活動報告

10/23

県民ボランティアによるヨシ刈り及びゴミ撤去作業（福島県と共催）

猪苗代町の小黒川河口付近で昨年度に引き続き、ボランティアによるヨシ刈りとゴミ撤去作業を実施しました。

水辺のヨシは窒素やリンを吸収し水質浄化に役立つ機能がありますが、枯れて腐敗すると水質悪化の原因となるため、枯死する前に刈り取ることで水質の悪化を防止できます。

そこで今年度は247名の方に参加いただき、いくつかの班に分かれて作業に取り組みました。刈り取ったヨシの切り株で現場は足場が悪く、また水辺の泥に埋もれたゴミを拾ったりと苦労もありましたが、みんなで協力して0.3haのヨシ群落を刈り取り、0.83tのゴミを撤去できました。

ヨシ刈りの後は、豚汁をいただきました。当日は肌寒い天候だったため、熱い豚汁は大人気でした。



水辺のゴミ拾い



ヨシを相手に奮闘！

11/22

猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全フォーラム

ホテルリステル猪苗代にて、猪苗代湖・裏磐梯湖沼の水環境について理解を深めてもらうため、フォーラムを開催しました。

当日は、「第11回 猪苗代湖・裏磐梯湖沼フォトコンテスト」(2ページの入賞作品をご覧ください)の受賞者表彰の後、俳優・中本賢さんによる講演を行いました。ご自身の多摩川での活動経験をもとに、大変おもしろい講演をしていただき、会場からはしばしば笑い声が起っていました。



中本賢さんの講演で盛り上がりました



パネルディスカッションの様子

また、水環境保全活動団体からの活動事例報告やパネルディスカッションなど、今回は盛りだくさんの内容で実施し、147名の方にご来場いただきました。1人でも多くの方が猪苗代湖・裏磐梯湖沼の水環境に関心を持つきっかけになればと思います。

水環境保全フォーラムに県外から参加された
霞ヶ浦市民協会と諏訪湖漁業協同組合のお二人に
イベントに参加した感想等をお聞きしました。



霞ヶ浦市民協会理事長

滝下 利男氏

Q 普段どのような活動をされていますか？

A 霞ヶ浦の水環境保全に関して活動しています。その流域面積は茨城県全体の35%にもなり、各種排水を霞ヶ浦に放流し、その水を飲料用水にも使っています。生活排水は汚濁要因の一つになっていますので、特にその削減など、水質浄化に関する啓発に重点をおいた活動を行っています。霞ヶ浦を大切にしている気持ちを醸成し、水環境保全を実践する人の育

成や後継者の育成などに努めています。

Q 水環境保全フォーラムに参加された感想は？

A 環境保全に関わるグループの交流促進のお手伝いもしていますが、県外のグループとの交流機会は多くありません。今回はその貴重な機会を得ることができ、また湖沼の水環境に関わる課題は地域特性があることを強く印象づけられました。今後の地域活動に役立てていきたいと思えます。

Q 地域で水環境保全の取り組みを広げていくために大切と思われることを教えてください。

A 霞ヶ浦の水環境は多くの要因が

複雑に絡んで成り立っています。このため、行政・研究者・企業・学校・市民・団体などがプロセスを重視しながら連携して課題に取り組めるよう、そのためのネットワークづくりが大切と考えています。

外部講師を招いての講演会などを行っています。

Q 水環境保全フォーラムに参加された感想は？

A 全国の主だった活動団体を招いてのフォーラム開催は大変有意義なものでした。とくに手前味噌になりがちなこうした活動を、他県の団体の活動状況と比較できるようにした取り組みは素晴らしいと感じました。

Q 地域で水環境保全の取り組みを広げていくために大切と思われることを教えてください。

A 教えるなんてとんでもないことです。既に福島県をはじめ各種団体がきめ細かな取り組みを展開しており、学ぶ点が多かったです。諏訪湖漁協では、活動への理解や参加をさせていただくために、取り組み内容を漁協ホームページに掲載したり、テレビ・ラジオ・新聞などに積極的に情報を提供しています。



諏訪湖漁業協同組合広報教宣部長

吉澤 忍氏

Q 普段どのような活動をされていますか？

A 昨年、長野県が事務局となり「諏訪湖環境改善行動会議」が発足しました。市町村・J.A.連合婦人会・釣船組合・環境協会など、約40団体が協働し、湖底貧酸素発生の大きな要因の一つであるヒシの除去や河川の支障木の除去、漂着ゴミの片付け、



長年にわたり猪苗代湖の水質の調査研究を行い、また、自ら水環境保全活動にも取り組まれている日本大学の中村玄正先生にお話をお聞きしました。

Q 猪苗代湖の調査研究を始められたきっかけは何ですか？

A 私の大学時代からの専門は、衛生工学（上水道や下水道、水処理）、環境工学です。平成7年頃、長瀬川河口の赤茶色の凝集塊を見て、水の浄化に関わっているに違いないと考え、いつかはその生成機構や浄化機構を明らかにしたいと思ったのがきっかけです。猪苗代湖に接すれば接するほど、その偉大さと貴重さ、魅力、素晴らしさに惹かれていつています。なお、平成13年度に県環境審議会会長として猪苗代湖及び裏磐梯湖沼群の水環境の保全に関する条例の審議に携わったことが、より責任ある立場での研究遂行を加速させたことも事実です。

Q 水にまつわる思い出などを教えてください。

A 小学校から高校まで、瀬戸内海沿いの香川県で育ちました。海では潮干狩りや防波堤での釣り、川や池ではフナ釣りをしたり泳いだり、暗くなるまで自然の中で思いっきり遊んでいました。

Q ご出身はどこですか？

A 父が農林省の転勤族で、生まれは甲府市ですがその後福井市に移り、小学校から高校までは香川県の善通寺市で育ちました。東北に来て50年以上になります。子供たちの古里は福島です。

Q ご趣味は何ですか？

A 水泳、テニス、スキー等のスポーツです。読書では夏目漱石の「吾輩は猫である」、音楽鑑賞も好きです。

Q どのような水環境保全活動を行っているのですか？

A ローターリークラブや県民の皆さん方と漂着水草の回収や、猪苗代湖の自然を守る会（代表・鬼多見賢氏）のお手伝いとして湖岸清掃などです。COD削減のための水生植物回収量は増やしたいです。また、日本大学工学部の研究員として湖岸の水質調査や水質分析も行うことができ、とても恵まれていると思っています。

Q 精力的に活動されている中村先生の元気の源は何ですか？

A 「皆さん方の笑顔」と「淡々と生懸命」の気持ち。健全な自然（大気・土・水等）への感謝の気持ちです。

Q 猪苗代湖の調査研究活動を行うなかで、印象に残っていることは何ですか？

A 強い風が吹いたときに、沖に紺碧の水と白波があるのに、天神浜や松橋浜などの北部水域の水はとも汚れた状態になってしまうことです。

Q 10年後、20年後の猪苗代湖はどのようなになっていくと思われますか？

A このまま放置すると目に見えない人為汚濁によってアオコの湖に変わってしまうことが危惧されます。今が紺碧の湖復活の勝負のときだと思います。



猪苗代湖の水質ランキング結果について

平成25年12月に環境省から平成24年度の湖沼水質ランキングが発表されました。猪苗代湖は残念ながら大腸菌群数が環境基準値を超過したため、今回もランキング対象外となりました。

大腸菌群数が増加した背景には、かつては酸性だった水質が中性化したことにより水質の自然浄化作用が低下したことや、生活雑排水の影響などが考えられますが、原因の特定には至っておりません。

湖沼は河川とは異なり閉鎖的な環境なので、水質が一度でも悪くなるとなかなか元には戻らないと言われていました。猪苗代湖のCOD値は1.0mg/lであり、今回のランキングと比べても、大腸菌群数の超過がなければ国内でもかなりきれいな水質を維持していることになりそうです。

水質悪化を防止し、日本一の水質が復活するよう、協議会では引き続き水質保全活動に取り組んでいきます。

平成24年度湖沼水質ランキング (mg/l)

順位	湖沼の名称	都道府県名	COD 値 (年間平均)
1	しこっこ 支笏湖	北海道	0.7
2	みそかわだむちよすいち 味噌川ダム貯水池 (奥木曾湖)	長野県	1.0
3	おおはしだむちよすいち 大橋ダム貯水池	高知県	1.3
4	しかりべつこ 然別湖	北海道	1.4
5	きがえだむ 寒河江ダム	山形県	2.0

※ COD = 化学的酸素要求量。
水中の有機物の量により水の汚れの程度を測る指標。

猪苗代湖の大腸菌群数 (MPN / 100ml)

年度	大腸菌群数最大値
21	2,400
22	7,900
23	7,900
24	4,900

※大腸菌群数の環境基準値は 1,000 (MPN / 100ml)。



NEWS

**猪苗代湖の自然を守る会が
水・土壌環境保全活動功労者
表彰を受賞しました！**

「水・土壌環境保全活動功労者表彰」を「猪苗代湖の自然を守る会」(代表・鬼多見賢氏)が受賞しました。

この表彰は、環境省が水・土壌環境の保全に顕著な功績のあった団体や個人を対象に表彰を実施しているもので、平成25年度は全国で23の団体や個人が受賞しました。

表彰状伝達式は平成25年12月24日、県庁で行われました。



表彰を受ける「猪苗代湖の自然を守る会」のメンバー



一面の桜が圧巻！
桜峠 (北塩原村)

桜峠は、平成13年(2001年)に2,001本の桜を植樹した桜の名所です。敬宮愛子内親王殿下のご誕生を祝して、当時、全国各地から桜のオーナーを募集して植樹が行われました。

牧場跡地一面が桜なので、満開になると非常にきれいです。桜の開花時期は県内では比較的遅く、5月のゴールデンウィーク頃が見頃です。近くには松原湖や雄国沼のほか、ラビスパ裏磐梯、道の駅裏磐梯もありますので、裏磐梯観光の際にはぜひお立ち寄りください。



お問い合わせは—
裏磐梯観光協会まで
電話 0241-32-2349



- イオンスーパーセンター(株)様 (岩手県盛岡市)
- イオンリテール(株)様 (千葉県千葉市)

(50音順)

※一万円以上の寄付について掲載させていただきました。
他にも多くの方から寄付をいただいておりますことに御礼申し上げます。

湖美来基金に対し、ご寄付をいただきました。ありがとうございました。



編集後記

今回の湖美来通信では、フォトコンテストの入選作品を掲載しました。惜しくも選外となった作品でも、猪苗代湖・裏磐梯湖沼の季節ごとの素晴らしい景色を感じる作品が多く寄せられました。

応募作品を季節ごとに分類すると、一番応募が多かった季節は秋でした。やはり美しい紅葉に魅力を感じるカメラマンが多いようです。次に応募が多かった季節は、少し意外ですが冬でした。雪景色や白鳥を写した作品が多く、厳しい冬は猪苗代湖・裏磐梯湖沼を象徴していると言えるかもしれません。春と夏はそれに比べると応募数は少なかったのですが、桜や水遊びの光景など、印象的な作品が多くありました。

見慣れた景色でも季節が変わると表情が変わります。これから暖かくなるので、カメラを持って外出するのが楽しみです。